

SGH企画：第5回さくら塾 白井哲哉先生講演会

演題： さくら塾「大災害と記憶・記録の継承 ～アーカイブズの観点から～」
講師： 白井哲哉先生（筑波大学教授 図書館情報メディア系）
日時： 平成27年9月11日(金) 15:50～17:10
場所： 北舎別館2F教室
参加者： 13名

江戸期の文書や地図、被災や災害の記録の保管や継承についての話をうかがいました。

- 講師は**白井哲哉・筑波大学教授**。先生のご専門は日本近世史とアーカイブズ学。最初は、地図や文書の読み解き方を教わりながら、大学の所在地、茨城県筑波台地の歴史について学びました。筑波大所蔵の「江戸幕府評定所裁許絵図」(1694)を机いっぱい広げての講義は迫力満点でした。
- 講演の後半はアーカイブズ学。後世に何を残し何を伝えるか。東日本大震災の被災地での出来事を中心に、地域の記録や記憶を残すことの大切さについて学びました。



江戸期の文書の読み方、江戸期と現在の地図の比較。専門家の講義に一同興味津々です。

<生徒の感想>

- 高校の授業とは違い、本物の歴史資料に触れたのでなんだか感動しました。これまではこういう出来事が昔あったのかあと想像するだけでしたが、資料を目の当たりにして本当にあったんだ！と思って歴史を随分と身近に感じることができました。また、**教科書に書いてあることを昔の資料から推測していくというのは新鮮で面白かったです。**
- 津波に流されなかった「奇跡の神社」について、奇跡ではなく、過去の震災などの記憶を元に安全な場所、向きに建てられたため流されなかったという話では、記憶によるデータの重要性を感じました。**膨大な量のデータを保存するのはとても難しいと思いますが、津波の被害に遭うか遭わないかにも関わるとわかり、必要な情報は出来る限り保存する必要を感じました。**今、自分に出来ることを考えるのは今さらかもしれませんが、考え始めるきっかけとなりました。

SGH企画：白井哲哉先生・日本史出張講義

- 演題： 「過去の出来事は、どうやってわかってきたのか」
講師： 白井哲哉先生（筑波大学教授 図書館情報メディア系）
日時： 平成27年9月11日(金) 14:15～15:05
場所： 2年3組教室
参加： 2年3組生徒40名

過去の史実をどうやって確かめるのか。本能寺の変や検地帳を例にうかがいました。

- 誰もが知っている「本能寺の変」がのちの時代に脚色されている可能性があることや、同じく「慶安のお触書」の存在が疑問視されていることを学び、過去の史実を知る難しさを知りました。
- 天正20年検地帳（太閤検地の検地帳の実物！）、元禄10年検地帳の実物をもとに講義を受けました。文書を見るポイント、文書から考えるべきことを教わり、歴史学の一端に触れることができました。



実物の検地帳を見て一同驚き、豊臣秀吉や当時の農民たちの暮らしに思いを馳せました。

<生徒の感想>

- 「教科書に載っている歴史の出来事を疑うことが、大学での勉強だ」という言葉が印象に残っています。これまで抱いていた歴史上の人物に対するイメージは、後世の人々が創作した話かもしれないということが面白いと思いました。今まで信じられていたことが間違いだと分かたり、**新事実を発見したりすると歴史の教科書の内容はどんどん変わっていくことに驚きました。**本物の古文書に触ることが出来て嬉しかったです。時代によって文字に特徴が生まれることに驚きました。貴重な資料を見て、教科書に載るまでの裏側を知り、これからもっと歴史の授業が楽しくなると思いました。講義を受ける前、『過去の出来事はどうやってわかってきたのか』と言う話が聞けるとあって、ワクワクしていました。中学で安土桃山時代を勉強した時に、この時代は好きになったので、その時の織田信長や豊臣秀吉の話が聞けて、とても興味深かったです。過去の資料も実際に触らせてもらくと、色や感触から時代を感じました。2つの資料を比べた時に、文字の違い

があり、何百年単位で見ると、その時代の文字の特徴があつて、いつの文字かを推測出来る事に驚きました。大学では中学や高校で習った知識が本当に正しいのか、どうしてその事実が分かるのかなど、今までよりも更に深い授業が受けられると思います。大学で意味のある学習をするために、今の日本史を精一杯学びたいです。

- 私は今まで歴史を疑いようもなく確かな事実としてとっていたので、今回の授業の中の、教科書の内容が覆されることがあるという話がとても印象的でした。歴史は調べれば調べるほど明らかになっていくのではなく、調査が進んだ結果、それまで確かな事実だったことが否定されてしまうこともあるのだというのにはとても驚きましたが、同時に歴史の奥深さを感じました。また、**私達は歴史の上に生きていること、そして私達も歴史の一部であることを自覚し、未来へ今を残すことの重要さにも気付きました。**今回の授業は自分にとってとてもよい経験になったと思います。ありがとうございました。
- 今日の白井先生の授業を受けて、日本史は日々研究されていて、いろんなことが解明されているということがわかりました。また、今から何百年も前の検地帳の実物を見て、触れることができて驚きました。普段の授業では聞けないような専門的な話が聞けてとてもよかったです！
- 第一に、筑波大学という有名大学の教授の授業を受けられたことがとても嬉しかったです！授業では、**一見難しそうな資料でしたが、内容を聞くと物語のようで面白かったです。**しかし、歴史を調べる上では事実かどうかを吟味することが非常に難しく、大変であるとわかりました。また、本物の水帳を見ることができて感動しました！入試のための歴史じゃなくて、興味深かったです。ありがとうございました！！
- 400年前の検地帳の実物に触れることができてよかった。歴史には興味があるので今日のような授業をもっと受けたいと思った。
- 今日の授業を聞いて、**いつも何気なく日本史の教科書を見ているけど、そこにはさまざまな書物から読み取れたことや年月をかけてどんどん変化していくものがある事が分かり、とても興味深いなと思いました。**これから授業を受ける時はそのような事も考えながらもっと歴史に興味を持てるようにしたいです。
- 今まで習ったことのない歴史の授業で、大学での歴史などの授業はこういうのかなとわかりました。
- 検地帳をみて、豊臣秀吉が生きていた時代のもので、そういう昔のものがあるから、歴史の教科書とかができるんだと思ってすごいと思いました。普通では見られないものが授業で見られて嬉しかったです。
- 今日は、教科書に載っているような内容がどのようにして分かってきたのかが分かっておもしろかったです。教科書にはびっしり情報が詰まっているけど、まだまだ分かっていないことが多いと聞いて驚きました。何百年も前の資料を実際に見ることができて、とても貴重な体験になりました。
- 今まで、教科書の内容を純粹に受け止めていたけれど、大学では、**教科書に載っていないことを自分で見つけたり、教科書は本当に正しいのかを考えたりすることを知って驚きました！考えたことがない視点だったなあと…。本物の資料が出てきた時は、少し興奮しました…！**秀吉の時の物が、目の前にあるなんて！ちゃんと形が残ってるなんて！日本はあんなに激しい戦争をしたのにもかかわらず、昔の大事な資料がちゃんと保存されていることにも驚きました。そして、何故、どうやって保存したのかが気になりました。わくわくできた 1 時間でした。ありがとうございました。